



今年初めてのプール 7月1日

鳴沢小学校で今年初めてのプール授業が行われました。当日は、天気がよく気温も高くプール日和で、3年生の子どもたちはとても楽しそうに泳いでいました。

2022
No.49

令和4年8月1日発行

6月定例会

- 6月定例会情報 P2~4
- 委員会活動 P5~6
- 一般質問 村政を問う!! P7
- 追跡レポート あの質問のゆくえ... P8~9
- 議会タブレット本格運用開始 P10
- 議会だよりモニター通信 P11
- 村民の声「鳴沢村と蕎麦」 P12



6月定例会

会期：6月14日～17日（4日間）

今定例会では2件の補正予算をはじめ、1件の専決承認案件、2件の条例改正など合計8議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

補正予算の審議では、原油価格等の物価高騰のため、住民1人当たり1万円給付する「くらし応援給付金支給事業」や、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、スポーツ・文化合宿に1人1泊につき1千円の支援する「やまなしスポー

ツ・文化合宿等再開支援事業」、低所得者の子育て世帯の児童1人につき5万円支給する「子育て世帯生活支援特別給付金支給事業」、活き活き広場への遊具設置費などが可決されました。

一般質問には1名の議員が登壇し、道の駅なるさわの災害用トイレの保管方策や避難所への非常食等の入替え周期など、防災体制について問いいただきました。（詳細はP7）

おもな補正予算

一般会計 6712万円を追加し、予算総額は21億8159万円に

使いみち

●くらし応援給付金支給事業	3463万円
●活き活き広場遊具設置費等	2297万円
●やまなしスポーツ・文化合宿等再開支援事業	1165万円
●子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	226万円
●いきやりの湯 給水ユニット更新工事等	150万円
●保育所 空気清浄機の購入	139万円
●猫の不妊・去勢手術の助成金	38万円

財源

●普通財産売払収入	40万円
●環境保全支援事業寄附金	2000万円
●ふるさと応援寄附基金	45万円
●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(原油価格・物価高騰対応分)	2170万円
●子育て世帯生活支援特別給付金支給事業交付金	226万円
●山梨県猫不妊・去勢手術助成事業補助金	38万円
●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金	157万円

介護保険特別会計

54万円を追加し、 予算総額は3億3795万円に

使いみち

●人件費	54万円
------	------

財源

●介護保険担当人件費繰入金	54万円
---------------	------

(万円未満四捨五入)

おもな専決承認

住宅ローン控除の入居期限が令和7年度、控除期限が令和20年度まで延長

鳴沢村税条例の一部改正の専決処分承認

地方税法等の一部改正に伴い、条例整備を行うための改正を専決処分しました。

主な改正内容は、民法改正に伴うDV被害者等の証明書には住所に代

わる事項の記載を行うことが可能になったこと、住宅ローン控除の期限延長、固定資産税減免となる省エネ改修の対象工事に太陽光発電装置等が追加されたなどです。

(担当:税務課)

おもな条例改正

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減免の延長

鳴沢村国民健康保険税条例の一部改正 鳴沢村介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した被保険者等に係る国保税及び介護保険料について、令和5年3月31日まで

の納期限のものを引き続き減免できるようにするなど、所要の改正を行いました。

(担当:住民課・福祉保健課)

富士五湖広域行政事務組合の新庁舎竣工に伴う事務所の変更

富士五湖広域行政事務組合同規約の変更

富士五湖広域行政事務組合新庁舎竣工に伴い、事務所の位置

を変更するため、規約の変更を行いました。

(担当:総務課)

報告事項

令和4年度へ繰り越した事業を確認

令和4年度へ繰り越した事業の、繰越明許費(※)繰越計算書の報告を受けました。

一般会計

- 村道改良事業 1140万円
- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業 819万円
- 総務行政諸費 462万円

●住基ネットワークシステム

- 運用経費 300万円
(万円未満四捨五入)

※繰越明許費

年度内にできなかった事業を議会の議決を経て、次の年度に繰り越して実施するもの。

教育委員会が行った事務の評価を確認

令和3年度の教育委員会の権限に属する事務の管理や執行の状況につ

いて、点検・評価をした内容の報告を受けました。

【おもな報告事項】

●国際理解教育の推進

5・6年生の英語科の授業に近隣自治体と共同で英語専科講師を配置

●情報活用能力の育成

高速大容量ネットワーク及び児童一人一台端末の整備が完了し、デジタル教材の活用とICT支援員の派遣を継続し情報教育を実施

●特別支援教育

村単教員を5名採用し、特別な配慮を必要とする児童への支援及び指導を実施

●学校施設の整備

感染症対策として中央廊下に水栓数12口の水道施設を整備し、各教室にある水栓をレバー式水栓に交換

●スポーツ・レクリエーションの推進

新型コロナウイルス感染症拡大により各種大会、教室、研修会が中止となった



総務教育厚生常任委員会

委員長
佐藤博水

6月3日に、総務教育厚生常任委員会を開催し、再生資源の屋外保管に関すること、令和4年度の活動内容について協議を行いました。

◆再生資源の屋外保管について

総務教育厚生常任委員会では、村の自然環境や景観に影響がある再生資源の屋外保管について、村の現状や先進地である千葉市の条例概要について、振興課長、住民課長より説明を伺い、意見交換を行いました。

◆各種団体等との座談会について

平成28年度より村内の各種団体等との座

談会を開催し、意見交換を実施しており、この活動は全国町村議会議長会でも高く評価していただいております。

今年度も住民の皆さまとの意見交換等で生の声を聞き、村政へ反映していくことをテーマに活動して参りたいと思います。

協議の結果、今年度は「青少年育成会」「ブルーベリー応援隊」「ブルーベリー生産組合婦人部」「婦人会」の4団体を意見交換の対象団体候補とさせていただき、意見交換会を開催することと決定しました。

関係各位の方々には、お手数ではございますがご協力を賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。



建設産業経済常任委員会

委員長
渡辺次男

6月6日に、建設産業経済常任委員会を開催し、令和4年度に実施予定となっている、村が主体となって施行する村道・水道関係工事や国・県が主体となって施行する工事について振興課より説明を受けたほか、継続的に協議しております道の駅リニューアルについての協議、「鳴沢村土地開発行為等の適正化に関する条例」に基づく、土地開発行為等調整会議の報告などを行いました。

◆道の駅指定管理について

5月19日に開催した「道の駅専門部会」での協議事項を報告し、その内容をもとに意見交換を行いました。

【専門部会報告事項】

●道の駅関係者との意見交換について

指定管理者であるJA鳴沢村は、1県1JA構想のもと、組織再編が協議されている中、今後の施設管理の在り方について、JA鳴沢村組合長などと協議していく。



Q 防災倉庫や避難所への 備蓄品の数量は

A 備蓄品数量は万全を期している

村では、令和2年度に防災倉庫10棟を設置し、避難所用ファミリールーム、段ボールベッド、自動ラップ方式トイレ等が備蓄され、災害から守る安心感が増している。

さらに昨年度、道の駅なるさわの浄化槽改築工事が行われ、災害用マンホールトイレ14基が設置された。

道の駅なるさわの災害用トイレの保管方策、格納倉庫等の充実を図るべきだが、計画を伺います。

また、備蓄品の入替え周期と効果的な消費計画について伺います。

●総務課長 三浦 寿得

道の駅なるさわは、災害発生後に身の安全を確保する指定緊急避難場所に指定されている。

災害が起きた場合は、来場者1,900人の避難者を想定し、災害時に不足するトイレを補うために、



佐藤 博水 議員

マンホール型トイレ14基分を令和3年度の浄化槽改修工事で整備した。アルミ製の組立てトイレ等の備品は、整備済みの防災倉庫を浄化槽隣に移設し、保管した。備蓄品の消費期限の管理については、水、米、缶詰等の備蓄品の消費期限が5年のものに統一し、村内6か所の防災倉庫の備蓄品一式をローテーションで全て更新するようにしている。

備蓄品、資機材の管理については、国・県・市町村が情報共有できる物資調達輸送調整等支援システムを活用した物資管理を令和2年度から運用している。



災害用トイレが設置できる道の駅なるさわの浄化槽（博物館南側）



マンホールに設置できる災害用トイレ

追跡 レポート!

あの質問のゆくえ

過去に行われた一般質問がどう取り扱われたか、その後を追跡しました。

ふるさと納税返礼品について

質問 令和2年6月定例会
渡辺 正人 議員

ふるさと納税の返礼品を見直し寄附金を増やす施策が必要では。

各種補助金等を活用して、返礼品を開発し寄附額を増やす考えは。



ふるさと納税のホームページ

答弁 制度の中で知恵を絞って寄附金額を増やす

平成30年度より、ふるさと納税サイトの運用を開始した。

また、返礼品の種類を増やし、500万円程度で推移していた寄附額が平成31年度には1,500万円に増額した。

今後も返礼品の種類を随時追加していく。また、地域共通返礼品を富士河口湖町と企画している。

現在 ゴルフ場・キャンプ場の施設利用券など返礼品の種類を増加

随時、返礼品を増やして寄附額の増加を目指し取り組んでおり、令和3年度は富士河口湖町との共通返礼品やゴルフ場・キャンプ場などの施設利用券が返礼品に追加されました。

令和4年度は、F Cふじざくら山梨の応援グッズや、山梨県共通返礼品の種なしピオーネ・日本酒飲み比べセット・富士の介【サーモン】などを返礼品に追加して寄附額を増加していくとのことです。

情報発信の強化について

質問 令和2年6月定例会
三浦 雄一郎 議員

ホームページは検索・閲覧等に不便がある。医療情報周知や防災面からもホームページを活用した情報発信強化の考えはあるか。



新しいホームページ

答弁 ホームページのリニューアルを検討

ホームページをスマホ対応できるようにリニューアルを検討する。

パソコンだけでなく、スマホ、タブレット等の端末からでも見やすく変換され、災害時は文字情報中心のデータ軽量版ホームページに切り替え可能なシステムを検討していく。

現在 令和4年3月1日よりホームページをリニューアル

令和4年3月1日より新ホームページにリニューアルしました。新型コロナウイルス感染症対策、補助金・助成制度、イベント、選挙等の旬な情報は、行政・暮らしサイトのトップページから簡単に該当ページを表示できるようになっており、災害時には軽量版ページに切替え可能となっております。今後も「知りたい情報にたどりつきやすいHP」を目指し、日々更新を行っていくとのことです。

運転免許返納後の高齢者支援は

質問 令和3年12月定例会
渡邊 明雄 議員

運転免許証の自主返納をするにあたり、村のバス等の運行を希望する高齢者がいる。

近くの医療受診や買い物ができるよう1日当たり2往復程度の運行をするなどの考えは。



高齢者外出支援事業
ホームページ

高齢者外出支援事業の詳細は村ホームページ又は広報なるさわ4月号をご覧ください。

答弁 新たな外出支援事業を検討

現在行っている一般公共交通機関を利用できない虚弱な高齢者世帯などへの医療機関への外出支援サービスを見直し、免許返納後のバス定期券、タクシー補助等の外出支援事業を検討していく。

現在 バスやタクシー代の補助を
令和4年度から開始

住民である70歳以上で運転免許証を所持していない者、住民で60歳以上70歳未満で運転免許証を返納し運転経歴証明書所持している者に対して、バス又はタクシー利用料の一部助成が開始され、利用者は、バス又はタクシー利用助成のどちらか一方を選択できるようになりました。

家庭での防災対策の推進は

質問 令和3年9月定例会
小林 昭一 議員

東日本大震災から10年が過ぎ、防災意識の薄れが懸念される。

家庭での防災意識向上のため、家庭での防災計画の推進を行っては。

答弁 災害時における対応方針の計画が必要

村では被災時でも最低限の行政サービスが維持できるよう「鳴沢村業務継続計画」を策定。各家庭の防災計画を作成し、災害や事故に備えを行ってもらいたい。

現在 小学生を対象とした出前防災教室
を実施



出前教室の様子

防災意識向上のため、令和3年9月27日、鳴沢小学校4年生を対象とし、次の事項を目標に出前防災教室が実施されました。

- ①地域の災害に関心を持ち、地震や噴火への備えが大切であることを理解することができる。
- ②災害から身を守るために、どんなことをしたらよいのかを調べ、考えあい、学びを深めることができる。
- ③家族と災害への備えを話し合い、自分や家族の命を守ることにについて考えることができる。

また、フォローアップ調査と保護者向けの事前アンケートを実施し、出前教室の効果の検証もされております。

議会タブレット本格運用開始

鳴沢村議会では、令和2年から先進地議会等を参考に、タブレット端末導入に向けて調査研究を進めてきました。

令和3年に議員全員の賛成のもとタブレット端末の導入が決定されました。

その後、村当局との協議や講習会を経て令和4年6月定例会からタブレットを活用しての議会運営をスタートしました。

今後は完全ペーパーレス化を目指して体制を整備し、議会運営・議会活動の活性化、効率化を進め、村民の皆様方の声を行政に反映する様、より一層の努力をしていきます。



タブレット端末導入によるメリット

- ① 資料の電子化（ペーパーレス）
- ② データをクラウド上に蓄積することで、その場で確認ができる
- ③ 議員活動のスピードアップが図られる
- ④ 村民に対する柔軟な説明が可能になる
- ⑤ 災害時の迅速な情報共有・提供

※クラウド

インターネットなどのネットワーク経由でユーザにデータ保存等のサービスを提供する形態。

佐藤博水議員 初受賞！ 鳴沢村から

ミズノスポーツ
振興財団のHPです



我が鳴沢村議会の佐藤博水議員が、このたび山下泰裕JOC会長を選考委員長とするミズノスポーツ振興財団より、栄誉ある「スポーツメントール賞」を受賞されました。

これは地域や県内外で40年以上に渡ってスポーツ指導・青少年健全育成・奉仕活動などに努めてこられた功績が認められたもので、同時に受賞された錚々たる方々を見ればどのように素晴らしい賞だったかがわかります。



佐藤議員によると、自身は初めからスポーツ経験者でも指導者でもなかったそうです。しかし若い頃に青年団・敬老会・体育祭り等の運営に協力をするうち、自らも率先してスポーツを学び鍛錬するようになり、以来毎年のように数々の指導員や審判員等の資格も取得。現在では村内だけでなく山梨県スポーツ少年団本部長等の要職を務めておられます。粉骨砕身、身を粉にして住民・青少年の心と体の健康づくりに貢献してこられたことに賛辞と感謝の声を送らざるを得ません。村民の皆様とともに受賞を喜びたいと思います。

議会だより

モニター通信

今年度も暮らし応援商品券をいただきましてありがとうございます。

これからの鳴沢村のため、SDGsへの取り組みは大変大切かと思えます。地域創生の取り組みを行ってきたとき、鳴沢村の活性化を図っていただければと思います。

(40代 男性)

タブレット端末での議会によってペーパーレスによる環境対策がされていくことはとても良いと思う。

又、県外から人を呼び込もうとする対策がたくさんあり村の活性化に繋がりが良いと思いました。

(30代 男性)

別荘地に住んで7年、議会だよりに興味はありましたが、読む機会が少なく残念に思っていました。年4回も発行されていて評価も高いとのこと。一人でも多くの村民に読んで欲しいですね。

年間発行日の記載や戸別配布等、届ける工夫をしていただきたいです。

(70代 女性)

自然を生かした平穏な社会が、近年大きく見直される縄文遺跡が村内にある可能性と、自然との共生が柱のSDGsへの関心が、いかにつながる可能性があるのか、興味深いところ。他にないSDGsと縄文遺跡を関連させる取り組みを期待させる「議会だより」でした。

(60代 男性)

議会だよりモニターの皆さまから、5月発行の議会だよりNo.48について、次のようなご意見等をいただきました。皆さまからのご意見等を参考に、今後もよりよい議会だよりを作っていきたいと思えます。

3月定例会の概要説明でタイトルにICTという単語が目につきました。何かと思ったら近くに※で説明あり。インターネット情報交換とのこと。文中に目を移すと今度は議案配布にタブレット端末使用とのこと。議会も様変わりを感じました。

(70代 男性)

表紙にある目次は、簡潔でわかりやすく、読んでみようかなと興味が出る題名になっていてページをめくるのが楽しみになります。

また、SDGsの取り組みについて、世間の注目話題について鳴沢村の考えが掲載されていて内容に興味を持ってました。

(40代 女性)

新年度の予算、議論の内容についてなどが書かれていて、どのようにお金が使われているのか、どのような内容の議論がされているか、鳴沢村に住む1人として他人事ではなく、改めて興味を持っていこうと思いました。

(30代 男性)

令和4年5月1日に議会だよりについてご意見や感想をお寄せいただく「議会だよりモニター」として7名の方を委嘱いたしました。

令和6年3月31日までの任期となります。どうぞよろしくお願いいたします。

鳴沢村と蕎麦

写真を撮ることを生業に地球上をウロウロしています。そのためか終の棲家と定めた鳴沢に中々腰を落ち着かせる事ができない有り様です。

しかし、昨年コロナ禍で何処にも行けずに鳴沢村での在宅の時間が増えて寒い冬を実感しました。

年に2~3度の蕎麦打ちが趣味と呼べるのかわかりませんが、何故か「蕎麦打ちたいなあ!」と言うつもりが「蕎麦の種を蒔いてみ



蕎麦の花

たいのですが」と村の人に。そしたら「土地が遊んでいるからやりましょう」とのお返事が。

そんな事から始まった蕎麦、一大珍事業が始まりました。

北川 外志廣



北海道産の「キタワセ」、信州大学が改良した「信州大」2種類の種を蒔き最初の一步を踏み出しました。

2週間も過ぎた頃には白い綺麗な花が咲き(花の匂いはちょっと臭い)、2ヶ月も経ちやがて村の人を頼りに実の収穫も終わり、お世話になった皆さまに「新蕎麦」を振る舞う時が、石臼を回し「挽き立て」「打ち立て」「茹で立て」の三立てを敢行しました。

鳴沢村に伝わる秘伝の蕎麦種も用意された今年は「獲れ立て」を目指し、四立てに挑戦です。

広報常任委員推薦! 鳴沢のおすすめ!

広報常任委員 小林 昭一

「おかず一品」

JA鳴沢村では夏の農繁期の家事の手助けの為、おかず(揚げ物)を用意しています。

受付時間

昼 10:30まで・夕方 15:30まで

から揚げ 1個	40円
から揚げ 1kg	1,200円
牛肉コロケ	80円
メンチカツ	100円
エビフライ	100円
ささみチーズ	140円
ハムカツ	100円
アジフライ	120円
グラタンコロケ	100円
千切りキャベツ	50円



エビフライ・アジフライ・コロケ・唐揚げなど多種のお惣菜があります。

急なお客様や多人数での会合などにご利用ください。詳しくはJA鳴沢村各支所までお問合せください。

議会からのお知らせ

傍聴してみませんが
次の定例議会は9月中旬
に開会予定です。

傍聴可能な日程は、
役場議会事務局までお気軽
にお問い合わせください。

10月にCATVでも放映予定です。
ぜひご覧ください。

☎ 85-2311 (内線400)

なるさわ議会だよりは、ホームページでも公開しています。また、本会議の会議録も公開していますので、ぜひアクセスしてください。

